

土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日（平成30年6月1日以降積算基準日適用）

区 分	ページ	現 行	改 定	備 考
共通編	仮設-3 (109)	<p>105-230 法面工（仮設用モルタル吹付工） 「土木工事標準積算基準書（共通編）第II編 共通工 第5章 仮設工 ㊸ 法面工（仮設用モルタル吹付工）」を適用する。</p> <p>105-240 交通誘導警備員 「土木工事標準積算基準書（共通編）第II編 共通工 第5章 仮設工 ㊸ 交通誘導警備員」を適用する。</p> <p>105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧パイプロハンマ） 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-260 仮設昇降用階段工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-270 仮設落石防護柵工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-280 急傾斜防止工事用防護柵工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-290 とい排水工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-300 公安委員会指定委任信号機設置 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-310 冬期施工の積算について 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-320 結氷対策工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-330 除雪工 「運用資料」を適用する。</p>	<p>105-230 法面工（仮設用モルタル吹付工） 「土木工事標準積算基準書（共通編）第II編 共通工 第5章 仮設工 ㊸ 法面工（仮設用モルタル吹付工）」を適用する。</p> <p>105-240 交通誘導警備員 「<u>運用資料</u>」を適用する。</p> <p>105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧パイプロハンマ） 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-260 仮設昇降用階段工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-270 仮設落石防護柵工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-280 急傾斜防止工事用防護柵工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-290 とい排水工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-300 公安委員会指定委任信号機設置 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-310 冬期施工の積算について 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-320 結氷対策工 「運用資料」を適用する。</p> <p>105-330 除雪工 「運用資料」を適用する。</p>	適用の改定

土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日（平成30年6月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																										
共通編	仮設-12 (118)	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">新 規 追 加</p> </div> <p>105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧バイプロハンマ）</p> <p>1. 適用範囲 本歩掛は、油圧バックホウをベースマシンとする油圧バイプロハンマ（油圧ショベル装着式）による軽量鋼矢板・鋼矢板・H形鋼の打込み及び引抜きに適用する。</p> <p>2. 機種を選定 機種、規格は、次表を標準とする。なお、粘性土と砂質土・礫質土とが互層の場合は、各土質の選定規格のうち最大規格のものを使用する。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>油圧バイプロハンマ</td> <td>油圧ショベル装着式 超低騒音型</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>表2.4</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>ベースマシン</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>必要に応じて</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	油圧バイプロハンマ	油圧ショベル装着式 超低騒音型	台	1	図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3	バックホウ	表2.4	#	1	ベースマシン	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	#	1	必要に応じて	<p style="color: red; font-weight: bold;">105-240 交通誘導警備員</p> <p style="color: red;">1. 適用範囲 本資料は、交通誘導警備員の交通管理を行う場合に適用する。</p> <p style="color: red;">2. 単価の設定 交通誘導警備員の単価については、「単価コード表 労務単価 公共工事設計労務単価」を使用する。</p> <p style="color: red;">3. 計上区分 当該工事の制約条件を勘案した交通規制パターン等による1日当たりの交通誘導警備員の配置人員をもとに、工事期間内で配置される人数を計上する。 なお、休憩・休息時間についても交通誘導を行う場合には、交代要員も交通誘導警備員の人数に含めて計上する。</p> <p style="color: red;">4. 交通誘導警備員の算定図(参考)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: red;">8:00 ~ 17:00</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">交通誘導警備員A 1人</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">休 憩</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>交通誘導警備員B 1人</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導警備員C 1人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導警備員D 1人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交代要員 1人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; color: red;">交通誘導警備員4人 + 交代要員1人 = 5.0人/日</p> </div> <p>105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧バイプロハンマ）</p> <p>1. 適用範囲 本歩掛は、油圧バックホウをベースマシンとする油圧バイプロハンマ（油圧ショベル装着式）による軽量鋼矢板・鋼矢板・H形鋼の打込み及び引抜きに適用する。</p> <p>2. 機種を選定 機種、規格は、次表を標準とする。なお、粘性土と砂質土・礫質土とが互層の場合は、各土質の選定規格のうち最大規格のものを使用する。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>油圧バイプロハンマ</td> <td>油圧ショベル装着式 超低騒音型</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>表2.4</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>ベースマシン</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>必要に応じて</td> </tr> </tbody> </table>	交通誘導警備員A 1人		休 憩								交通誘導警備員B 1人			休 憩							交通誘導警備員C 1人				休 憩						交通誘導警備員D 1人					休 憩					交代要員 1人						休 憩				機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	油圧バイプロハンマ	油圧ショベル装着式 超低騒音型	台	1	図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3	バックホウ	表2.4	#	1	ベースマシン	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	#	1	必要に応じて	<p style="color: red; font-weight: bold;">新規追加</p>
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																										
油圧バイプロハンマ	油圧ショベル装着式 超低騒音型	台	1	図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3																																																																																										
バックホウ	表2.4	#	1	ベースマシン																																																																																										
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	#	1	必要に応じて																																																																																										
交通誘導警備員A 1人		休 憩																																																																																												
交通誘導警備員B 1人			休 憩																																																																																											
交通誘導警備員C 1人				休 憩																																																																																										
交通誘導警備員D 1人					休 憩																																																																																									
交代要員 1人						休 憩																																																																																								
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																										
油圧バイプロハンマ	油圧ショベル装着式 超低騒音型	台	1	図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3																																																																																										
バックホウ	表2.4	#	1	ベースマシン																																																																																										
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	#	1	必要に応じて																																																																																										

105-230 法面工（仮設用モルタル吹付工）

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第5章 仮設工 ㊿ 法面工（仮設用モルタル吹付工）」を適用する。

105-240 交通誘導警備員

「運用資料」を適用する。

105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧バイプロハンマ）

「運用資料」を適用する。

105-260 仮設昇降用階段工

「運用資料」を適用する。

105-270 仮設落石防護柵工

「運用資料」を適用する。

105-280 急傾斜防止工事用防護柵工

「運用資料」を適用する。

105-290 とい排水工

「運用資料」を適用する。

105-300 公安委員会指定委任信号機設置

「運用資料」を適用する。

105-310 冬期施工の積算について

「運用資料」を適用する。

105-320 結氷対策工

「運用資料」を適用する。

105-330 除雪工

「運用資料」を適用する。

105-240 交通誘導警備員

1. 適用範囲

本資料は、交通誘導警備員の交通管理を行う場合に適用する。

2. 単価の設定

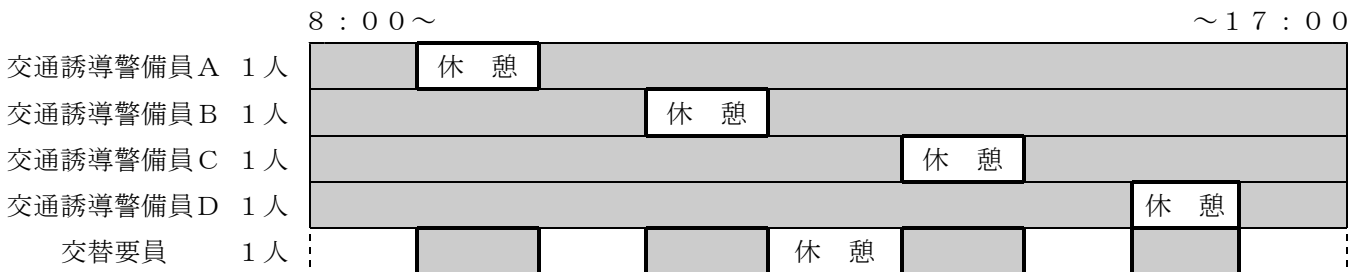
交通誘導警備員の単価については、「単価コード表 労務単価 公共工事設計労務単価」を使用する。

3. 計上区分

当該工事の制約条件を勘案した交通規制パターン等による1日当たりの交通誘導警備員の配置人員をもとに、工事期間内で配置される人数を計上する。

なお、休憩・休息时间についても交通誘導を行う場合には、交代要員も交通誘導警備員の人数に含めて計上する。

4. 交通誘導警備員の算定図（参考）



交通誘導警備員4人 + 交替要員1人 = 5.0人/日

105-250 矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧バイプロハンマ）

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧バックホウをベースマシンとする油圧バイプロハンマ（油圧ショベル装着式）による軽量鋼矢板・鋼矢板・H形鋼の打込み及び引抜きに適用する。

2. 機種を選定

機種、規格は、次表を標準とする。なお、粘性土と砂質土・礫質土とが互層の場合は、各土質の選定規格のうち最大規格のものを使用する。

表2.1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要
油圧バイプロハンマ	油圧ショベル装着式 超低騒音型	台	1	図2-1、図2-2、図2-3 表2.2、表2.3
バ ッ ク ホ ウ	表2.4	〃	1	ベースマシン
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	1	必要に応じて